

発行者：株式会社神岡衛生社 電話：0578-82-0337 E-mail：jimu@k-eisei.co.jp

「フードバンク」について

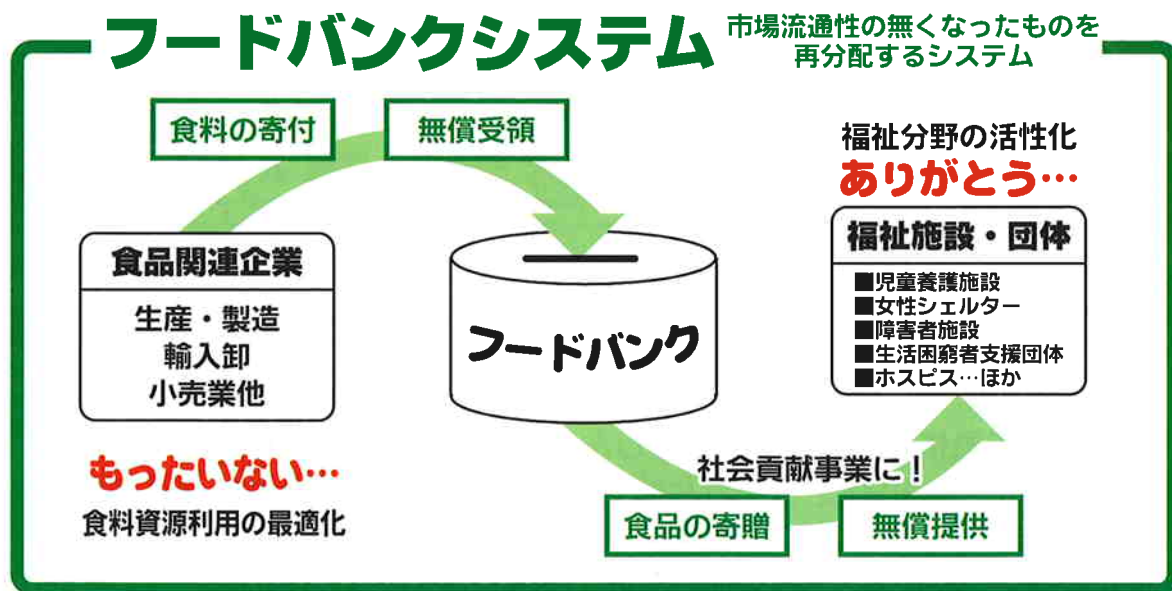
「フードバンク(food bank)」という言葉をご存知でしょうか？直訳すると「食料銀行」ですが、「食べられる食品は捨てずに生かす」という、もったいない精神から生まれたボランティア活動の一つです。製造工程で包装が破損した物や期限の印字が薄い物、また凹んだ缶詰などは、品質にはまったく問題ないのに、今まで規格外品として大量に廃棄処理されていました。

そこで、このような規格外品を食品関連事業者から譲り受け、福祉施設や生活弱者を支援する施設などに、無償で提供する活動を行なっているのがフードバンクです。

福祉先進国アメリカでは、すでに20年前からこのフードバンク活動は取り組まれてきました。食料自給率が最低水準にある我が国において、大量の食料品が食べられずに廃棄されていることは、必要以上の食料の輸入にも繋がります。

「食べられる食品は捨てずに生かす」、この当たり前と思えるフードバンクの活動が、企業が取り組む社会貢献の新しい形として今後ますます関心を集めそうです。

勘田 佳克



お気軽にお問い合わせ下さい。

株式会社 神岡衛生社 TEL0578-82-0337
FAX0578-82-5846

業務内容

- 一般廃棄物収集運搬/し尿、ゴミ（一般家庭・事業系） ●産業廃棄物収集・運搬 ●浄化槽清掃
 - 浄化槽保守点検 ●浄化槽工事 ●上下水道設備工事 ●下水道施設維持管理（終末処理場・管路）
 - 衛生設備維持管理 ●ビルメンテナンス/床清掃、排水管清掃、貯水槽清掃
 - 水質分析/環境分析、排水分析、建築物飲料水水質検査 ●環境衛生関連商品販売
- その他、環境衛生に関する全般のご相談に応じます。

URL <http://www.k-eisei.co.jp/>

金比羅祭りに参加初め

今年から金毘羅祭りに参加することになり、何から始めてよいか、戸惑いや不安ばかりでした。しかし、実行委員会が立ち上がったからはそんな不安は解消されていきました。各メンバーがお互いに意見や案を出しあい、より良いものを造り上げていこうという気概が終始感じられました。普段、一緒に仕事をする事のない人とも製作を共にしましたが、この人にはこんな知識や技術があったのかと、思い知る場面が数多くありました。これも金毘羅があったからこそ知り得たことであると思います。

私は山車の製作を担当しましたが、何もない状態から

徐々に形になり、山車が出来上がっていく喜びは、普段感じない独特のものがありました。これは行列班の人と同じことを言っていました。たくさんの力がひとつになったからこそ、立派な行列、山車が完成したのだと思います。そして、当日、気持ち良く参加できたのは、暖かい料理やお酒の準備と、裏方に徹して頂いた女性の方々のお陰でもあります。

祭りが終わった後、たくさんの方から踊りが楽しかった、地球が回るのに驚いた、メッセージ性があるって解りやすかったなど、お褒めのことばを頂きました。来年も皆さんに期待されるモノを造っていきたくと思っています。ありがとうございました。

田中 拓朗



コラム AQUA LOGIC

このコーナーでは、当社の社員が、環境衛生の仕事の現場で見たこと、感じたこと、あるいは仕事に関係のない趣味の世界を、交代で思いつくままに書き綴っていきます。

「一歩立ち止まって」

「春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山ぎは、少しあかりて、紫だちたる雲の細くたなびきたる」有名な『枕草子』の冒頭文です。筆者の清少納言は、少し明るくなったあけぼのの空と、そこにたなびいている雲を見て風情を感じ、季節を楽しんでいました。物質的な面では、今とは比べ物にならない程乏しかった時代ですが、心の豊かさという面では、「天気」と「気温」だけを気にする今より、遥かに上の位置にいたのではないのでしょうか。

物や情報が溢れているこんな時代だからこそ、それらに流されず、自分の目で見て自分が感じたことを大切にしたいと思っています。そして、日々を駆け足で進みながらも、時には一歩立ち止まって身近なものに風情を感じられる、そんな心豊かな人間になりたいです。

中嶋 研二 (なかしま けんじ)

神岡町出身 平成19年入社
分析課にて水質検査業務に従事

こんにちは！環境分析室です！

No.4

今回はBODとCODについてお話しします。

BODとは、水の汚れの程度を表す指標の一つで、日本語では生物化学的酸素要求量といいます。水の汚れは、ほとんどが有機物です。この有機物を、水の中にいるさまざまな微生物が食べて分解してくれます。微生物は、水に溶け込んでいる酸素を呼吸して生きています。汚れが多いほど微生物は活発に活動するため、より多くの酸素を消費します。このため、酸素の消費量が多いほど、有機物(汚れ)が多いということになります。



酸素が十分に溶け込んだ水で試料を適当な濃度に希釈

溶存酸素計で希釈した試料の酸素濃度を測定

※写真1

20℃で5日間保温

※写真2

5日後にふたたび酸素濃度を測定

酸素濃度の差から
BODを計算



※写真1



※写真2

CODも、水の汚れの程度を表す指標です。日本語で化学的酸素要求量といい、水の中の有機物を、過マンガン酸カリウムという薬品で分解します。有機物が多いほど、薬品がたくさん必要になります。この薬品の量から、分解に必要な酸素の量を計算した数値が、CODです。

試料に硫酸や過マンガン酸カリウムなどの薬品を加える

※写真3

沸騰水の中で30分間加熱

さらに薬品を加えて、消費された過マンガン酸カリウムの量を計る

※写真4

過マンガン酸カリウムの量からCODを計算

法律で、川へ流れ込む排水の汚れはBODで、海や湖に流れ込む排水の汚れはCODで表すこととされています。

私たち環境分析室では、下水や浄化槽の排水がきれいに処理されているかどうかを、BODやCODを測定することで調べています。



※写真3



※写真4

神岡・上宝地内の清掃活動について

神岡衛生社では、毎月1回（※積雪期を除く）神岡・上宝の市街地や国道付近のゴミ拾いを行なっています。

下の表は、去年の4月から12月までに拾ったゴミの量を表したものです。

作業月	場所	収集量
4月	神岡地区	16.6kg
5月	上宝地区	4.7kg
6月	神岡地区	1.5kg
7月	神岡地区	1.4kg
8月	上宝地区	2.9kg
9月	神岡・上宝地区	1.6kg
10月	神岡地区	55.4kg
11月	上宝地区	3.4kg
12月	神岡地区	40.2kg

多いときには、1日で50kgを超えるゴミを拾っています。

たとえば12月には雑誌類が多かったです。また、缶も目立ちます。

きれいな自然・町並みを守っていくためにも、ゴミのポイ捨てなどは、絶対にやめましょう。



液晶・プラズマ式テレビ、衣類乾燥機が 家電リサイクル法対象品目に追加されます

液晶テレビ
プラズマ(POP)テレビ



4月1日より、液晶式及びプラズマ式テレビ、衣類乾燥機が家電リサイクル法(特定家庭用機器再商品化法)の対象品目に追加され、これら进行处理の際は、ブラウン管テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機、エアコンと同様に、家電販売店、許可業者などに処理を依頼するとともに、リサイクル料金等をご負担いただくこととなります。

衣類乾燥機



品 目		リサイクル料金(税込)	引取開始日
家庭用液晶式及びプラズマ式 テレビジョン受信機	画面サイズ15V型以下	1,785円	2009年 4月1日
	画面サイズ16V型以上	2,835円	
家庭用衣類乾燥機		2,520円	

引っ越しのごみ片付けます

引っ越しが多い時期になりました。ごみが片付けられない、不用なものを持って行きたくないという方はいらっしゃいませんか？当社でお手伝いいたします。



1

まず、
ご連絡ください。



2

担当者が見積もりに
伺います(※)
見積りは無料です。
※作業場所や作業内容によって
料金は異なります。



3

そのままでも大丈夫。
分別から回収まで
すべてこちらで
行ないます。

お電話お待ちしております。担当：廃棄物2課 大上

TEL 0578-82-0337

しあわせになる条件 その10

弥生三月、早咲きの桜がほころびはじめ、新社会人への助走を始められた方も多いいことでしょう。

こんな情報を目にしました。若手先輩社員から“新入社員に言いたいことは何ですか?”と聞いてみた結果です。

1位は「わからなかったり悩んだりしたら、相談を」、2位には「あいさつを、きちんと」、3位、4位は「仕事の進行具合は、きちんと報告して」、「出来ないことは、出来ないと言って」、そして、5位以降には「うそをつかない」、「失敗したら、素直に謝って」、「相手の立場になって、考えよう」と続いています。

“エエーッ。もしかして、私のこと?”とヒヤリとされた方は、いらっしゃいませんか?

キャリア歴〇十年と胸を張っていても、案外出来ていないかもしれませんね。いえ、かえって、キャリア歴とともに素直さや柔軟さを失ってしまうのが、常ではないでしょうか。

うれしいときは「ありがとう」、ミスしたら「申し訳ありません」、出来ないときは「お願いします」の三つのマジックフレーズをきちんと使えること。

「おはようございます」「お疲れさまでした」「お先に失礼します」などのあいさつを明るくタイムリーに言えること。こんなあたり前のことを、案外おろそかにして来なかったでしょうか。

「あたり前のことばかりで、意味がない!」先日、県のお仕事で、とある高校3年生に、そのことを話しました。これは、そのときの、アンケートの中にあつた男子生徒のコメントです。

「おいおい君、知っていることと、出来ることは、大違いなのよ」私は、大切なポイントの一言を、言い忘れてしまったようです。

私たちは、決して一人では生きられません。上からの引き立てと下からの支持、そして左右からの支援の中で、はじめて人として、社会人としての自分のポジションが確立されて行くのです。そして、しあわせは、どれほど多くの人に支えて頂け、どれほど多くの人を支えてあげられるかにかかって来るのではないのでしょうか。

さあ、春です。マナーのABCD(あたり前のことを、馬鹿にしないで、ちゃんと、出来ること)の達成度を、再チェック。

まずは、今日から、あいさつの達人を目指しましょう。



尾山敦子
キャリアカウンセラー



これまでの「健康・環境シリーズ」に続き、今回から、岐阜県を代表する河川である長良川的环境について、粕谷先生から寄稿していただくことになりました。身近な自然である「川」を考えるきっかけにしてみませんか？

長良川的环境 1



粕谷 志郎 (かすやしろう)

岐阜大学地域科学部教授 医学博士

「清流は文化も育む」

乗鞍岳に発する高原川は、神岡町を通る清流で、皆様方の心のよりどころとなっているだろうと推察します。この清らかな流れから、日本の四大公害の一つイタイイタイ病が始まったとは、水の流れを見ただけでは想像さえできません。人のくり広げてきた経済活動が、多かれ少なかれ自然を攪乱し、その最悪の結果が、人の健康や文化の破壊に行き着くように思います。

郡上市、岐阜市などを流れる清流長良川、全国的に知名度の高い川です。この下流部から貝が居なくなっことは、意外に知られていない事実です。私たちは、河口堰によるものだと考えています。長良川本流には、長い間、ダムがありませんでした。それが、清流を清流として留めていた大きな要因と考えます。なぜダムが出来なかったのか？答えは簡単です。ダム建設にふさわしい地形ではなかったからです。谷が浅く、急峻であるため、水を貯める場所が無い。最後に目を付けられたのが、河口堰だったというわけです。今もって、国土交通省は、河口堰の環境に与える影響は軽微だと説明しています。そして、「長良川にはシジミが居る。」と、私たちとは違った「事実」を持ち出しています。そうです、私たちも河口堰下流の浅瀬に、若干ヤマトシジミの生息地が残っていることは否定しません。かつて、穴道湖と並ぶ、ヤマトシジミの一大漁場だった長良川。これが、河口堰とともに消え去ったのです。

シジミ漁は今も続いています。隣の揖斐川には河口堰がありませんので、こちらではシジミが獲れます。長良川と揖斐川は河口が合流していますので、船で簡単に行き来できます。スーパーで三重県産のラベルの貼られたシジミを目にしますが、手が出ません。値段ではありません。粒が小さく、マシジミが随分と混ざっています。おいしそうに見えないからです。長良川は、なぜ、こんな環境になってしまったのでしょうか。次回にご説明しましょう。